

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり作成しましたので報告します。

## 全 員 協 議 会 記 録

開催日：平成27年11月30日（月）

開催時間：10時50分～11時34分

開催場所：全 員 協 議 会 室

### 〔出席議員〕

西田議長、平石副議長

足立議員、岡野議員、柳楽議員、串崎議員、小川議員、森谷議員、野藤議員

上野議員、飛野議員、笹田議員、布施議員、岡本議員、芦谷議員、佐々木議員

道下議員、田畑議員、澁谷議員、西村議員、江角議員、牛尾博美議員、原田議員

牛尾昭議員

### 〔執行部出席〕

市 長、副市長、教育長、金城自治区長、旭自治区長、弥栄自治区長、~~三隅自治区長~~  
 総務部長、地域政策部長、財務部長、健康福祉部長、市民生活部長、産業経済部長  
 都市建設部長、金城支所長、旭支所長、弥栄支所長、三隅支所長、教育部長、消防長  
 上下水道部長(広域行政組合事務局長)

### 〔事務局出席〕 局長、次長、議事係長、庶務係長

(報道) 山陰中央新報社

---

### 議 題

#### 1 執行部報告事項 最初に「補正予算について」

- (1) 浜田市行財政改革大綱の報告について
- (2) 浜田市定員適正化計画の見直しについて
- (3) その他

#### 2 陳情付託

- (1) 陳情第11号 浜田ビューティーカレッジへの支援に関する陳情
- (2) 陳情第12号 市道45-3-027線の一部道路舗装について

#### 3 その他

【詳細は会議録のとおり】

【会議録】

[ 10 時 50分 開議 ]

西田議長 | これから全員協議会を開催する。

**補正予算について**

西田議長 | 執行部報告事項の前に、補正予算について執行部から補足説明があれば。

( 「ありません」という声あり )

西田議長 | 無いようなので、次の議題に移る。

**1. 執行部報告事項**

**(1) 浜田市行財政改革大綱の報告について**

西田議長 | この件について、総務部長。

総務部長 | ( 以下、資料をもとに説明 )

西田議長 | 説明が終わったが、議員から質問等があれば。

( 「なし」という声あり )

西田議長 | 無いようなので、次の議題に移る。

**(2) 浜田市定員適正化計画の見直しについて**

西田議長 | この件について、総務部長

総務部長 | ( 以下、資料をもとに説明 )

西田議長 | 説明が終わったが、議員から質問等があれば。澁谷議員

澁谷議員 | 先般の特別委員会における説明を傍聴した。この内容にも驚いたし、特別委員会委員から殆ど確認が無かったことも驚いた。この2年間、元気な浜田づくりという名目のもとに固定費がアップしているのではと感じている。その影響で住民福祉は後退している。住民福祉の向上という使命に反している状況下で、何故この定員適正化見直しという、固定費アップの計画が提案されるのか理解出来ない。ますます財政調整基金は減少し、中期財政計画は悪化するのでは。そしてますます住民福祉サービスは後退し、人口減少に拍車がかかる。その前に人事評価制度をしたり部課長の給与を上げたり、昇給試験をやったり、職員の採用年齢制限撤廃、不足している所にはヘッドハンティングして優秀な人材をスカウトすれば良い。市長のお考えをお尋ねする。

総務部長 | ご指摘のあった固定費アップは私も充分認識している。何故今、定員適正化計画を見直すのかについては、業務量の増加といった説明を御理解いただきたい。ただ、職員数を増やそうという考えではなく、平成33年までの所では現在の職員数をマックスと捉え、それから3分の1採用していたものを5分の4に減らしていく考えですので、重ねてご理解いただきたい。

ヘッドハンティングによる職員採用だが、フルタイム期限付き任用等にすると定員の中に入るため、定員適正化計画の数の中で対応していきたいと思っている。必要に応じては9月定例会で可決いただいた任期付き職員の採用もしていきたい。

ご指摘のあった意識や姿勢は大変重要と考えているので、人員適正化

に向けた考えの中で充分配慮したい。今から行革実施計画を作るが、そこでもこれについて盛り込むつもりなので、進捗管理も含めて議会にお示ししながら進めていきたい。

澁谷議員

順番が違う。定員適正化を見直す前に、嘱託職員と臨時職員の給与を上げるべき。例えば、平成19年度浜田市定員適正化計画には、ビジョンと哲学がある。地方自治体の決意と覚悟がある。分析もしっかりしている。その一方、見直し版は墮落した計画と言える。何故なら、自分の都合のいい数字しか出ていないから。平成19年度版には人口1,000人あたりの職員数がきっちり出ている。職員が減っていると言うが、合併以降に人口は物凄く減っている。それを加味しての分析をせずに、都合の良い数字ばかり出されてもさっぱり分からない。試しに自分で計算してみたが、人口あたりの職員比率はそこまで変わってない。それでも職員の不足を感じるなら事務量を減らすべきだ。もう決まりかけていることに対して何を言っても虚しいが。こういう結果で、中期財政計画が悪化して、尚且つ人口減少も総合振興計画以上だった場合、誰が責任を取るのか。是非、英知を結集して慎重に進めてもらいたい。

総務部長

ご指摘の件、充分配慮して進めたい。何点か具体的な質問に対しお答えする。

嘱託及び臨時職員の給与だが、これは浜田市の場合は高卒初任給を基準に決めている。高卒初任給がアップすることになれば上がるだろう。国や県の人事院勧告等があつて給与改定についての交渉をした所だが、まだ国が閣議決定していないため、それを待った後、浜田市でも出来れば3月議会で提案させていただきたい。今のところは国の人事院勧告に基づいたアップになるよう考えている。

事務量減をすべきだというのは、おっしゃるとおりだ。人員削減をするためには事務量を減らすしか方法が無い。そのための手法は、アウトソーシングなり事務そのものを少なくするしか無いかと思う。そういう視点は充分配慮したい。

人口1,000人あたりの職員数の考え方だが、確かに以前は総務省からも人口規模に応じた適正な人員配置、人員管理をすべきだという通知があつた。最近では総務省も見解が違つており、定員計画はイコール職員削減計画ではなく、組織のあり方を示すものとして、必ずしも減らす必要はないとか。毎年発行されている、地方公共団体における適切な定員管理の推進で報告が上がっているが、そのコメントをここで紹介する。

「集中改革プラン期間を含め、一貫して定員の見直しが行われてきましたが、一方では行政サービスの水準や職員の士気に影響が生じているとの指摘も見られる所です。地方公共団体においては、効率的で質の高い行政を実現するために、行政事業の変化や地域的特性など実用に応じたきめ細かな定員管理に取り組む必要があります。」

このような報告があり、必ずしも人口あたりの職員数という視点にはなっていない。何度も言うようだが、質の高い行政サービスをしていく上、あるいは効率的な行政サービスをしていく上では必要だと思っている。充分配慮したい。

西田議長

森谷議員。

森谷議員

変えられなくなつて発表するのはいつもの手だが、私が言いたいのは、

広域行政組合も浜田と江津から人間が派遣されているイメージ。それについては当然、人員適正化計画の中に入っているべきだと思うのだが、どうなっているか。

総務部長

広域職員についてはプロパー職員と両市からの派遣職員で業務を担っている。浜田市からの派遣職員については、定員適正化計画の中に、特にプロパー職員が退職した後をプラスにするという数値は入っていない。浜田市からの派遣職員の数は、全職員の中でカバーしていく位置づけになっている。森谷議員が仰るのは恐らく、プロパー職員が辞めた後に別枠でプラスにする計画になっているのか、という質問だと思うが、そうではなく全体の職員数の中で必要人数を広域に派遣したいと考えている。

森谷議員

計画の中に入っていないといけないのだが。計画に入っているという解釈で良いのか。

総務部長

派遣職員については、この中でやっていきたいということ。そういう意味では計画の中に入っていると言える。

西田議長

他に。足立議員。

足立議員

広域の話があったが、水道部にもこちらから職員を派遣していると思う。事務量が増大して絶対的に足りないというのであれば、派遣をする部分も根本的に考え直さないといけないのかと感じたのだが。その辺を見直すつもりはあるのかお尋ねする。

総務部長

今のご質問は、広域や他団体への派遣ということか。はい。足立議員が仰るように、広域だけでなく国や県の関連業務への派遣もある。業務量が減らせず、浜田市の業務を担ってもらう職員が必要だということになると、派遣そのものについても考えなければいけないと思っている。広域については別自治体ではあるが、業務そのものの見直しは必要に応じてやっていかねばならないと思っているので、浜田市と併せて見直してってもらいたいと思っている。毎年人事ヒアリング等もやっているが、その中でも浜田市の組織と同じような考えで意見交換している。

足立議員

広域もだが水道部も一般職を派遣している。ちょっと思ったのが年齢構成等も含めて、水道部は時と場合によっては独立採算制をよく言われる。しかしこういった時には浜田市一体だと。都合の良いような答弁をされることが時々ある。ならば、職員を派遣するのもしないのか、水道部のプロパーとして雇うのか雇わないのか、広域に対しても浜田市と江津市で多額の負担金を出しているのであれば、給与体系を浜田市に合わせる必要はなく、プロパーでやられれば良いだけの話。浜田市は別が一番ではないので、浜田市とは別の賃金体制を適用することも考えられるのではないか。そういうことも踏まえた上で定員適正化計画は見直されるべきだと思うが所見を伺う。

総務部長

水道部のプロパー職員については、後ほど上下水道部長から答弁させて欲しい。広域行政組合の給与体系だが、以前浜田那賀環境衛生事務組合の時代からプロパー職員については浜田市の給与を適用しており、その流れでいっている。派遣職員についても、江津市からの派遣職員は江津市の給料体系に沿っていると思われるのでご理解いただきたい。

上下水道部長

水道部にかかる一般職員削減の関係だが、平成26年度に1名業務係を削減し市長部局へ返している。27年度はプロパー職員1名減、29年度に一般職員1名減を考えている。その場合には一般職員を市長部局へ返す形にな

る。ただ一方で、プロパー職員の適正配置が問題になってくるのだが、今一番問題にしているのが、一番若い職員が35歳ということ。この14年間全く採用していない。これが5年10年と経過した時の担い手が問題になる。プロパー職員にするのか人事異動という形で一定期間は水道部にいてもらうのかを、人事課と検討中であり、今後の課題だと思っている。

西田議長

他に。

( 「なし」という声あり )

西田議長

無いようなので、次の議題に移る。

### (3) その他

西田議長

その他について、執行部から無いか。

金城支所長

緊急事案が1件発生したので報告する。

( 以下、資料をもとに説明 )

西田議長

この件で何か質問は。

( 「なし」という声あり )

西田議長

他に執行部からあれば。

( 「ありません」という声あり )

西田議長

執行部に対して議員からあれば。

( 「なし」という声あり )

西田議長

では、執行部はこれで退席されて構わない。

## 《 執行部退室 》

## 2. 陳情付託

### (1) 陳情第11号 浜田ビューティーカレッジへの支援に関する陳情

### (2) 陳情第12号 市道45-3-027線の一部道路舗装について

西田議長

陳情2件については、別紙のとおり陳情付託表をご覧ください。

## 3. その他

西田議長

その他について。

三浦局長

事務局から。今回の一般質問だが、ケーブルテレビ放映予定は別紙のとおりなので確認をお願いする。

市民新年賀会、毎年あるものだがご案内している。4日16時開会、場所はワシントンホテルプラザ、1,000円の会費は1月分の議員報酬から引き去りさせていただく。会員券は最終日の全協で配布する。

お手元に地域プロジェクト推進室から、意見交換会開催の案内がある。12月11日、予算決算委員会終了後に開催する。予算決算委員会の予定によっては若干時間が変更になるだろうがよろしく願います。裏面に出欠確認が付いている。記入して事務局へ提出して欲しい。

随時監査の結果報告書を配布しているので、中身を確認して欲しい。

事務局からの報告は以上である。この後、すぐに常任委員会を開催したい。総務文教が第4、福祉環境が第2、産業建設が第3委員会室。

西田議長

その他、議員から。森谷議員。

森谷議員

災害に関して。松江気象台100年史というものを中央図書館や教育委員会で探したが、同一タイトルの物は無い。気象台監修の「島根の気象100

年」ではないかとのことだった。この中で、千年間、津波が無いという記載は無いどころか、明治5年に津波はあったという記載、それから牛市の相生橋の所、踏切の線路の間に碑が立っているが、「ここまで津波が来た」という記載。被害の大きさは525人が死亡。片庭町は全壊家屋が90パーセント以上。そのようなすごい災害があった。命の危険に関する事なので、情報提供をしておく。千年間津波が無いという事実は確認出来ない。

西田議長

今のは情報提供ということで。他に。

( 「なし」という声あり )

西田議長

では、以上で全員協議会を終了する。

[ 11 時 34 分 閉議 ]

浜田市議会全員協議会規程第6条の規定により、ここに全員協議会記録を作成する。

浜田市議会議長 西 田 清 久